

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例年番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	発症の経緯	前向きNo.	備考
1	B-08026725	女性	4歳	20 mg		錯乱状態	回復	ザナミビル水和物服用2日前より、発熱等の症状あり。服用1日目、体温38.5℃と再び体温上昇したため、受診。キットにてインフルエンザと診断され、本剤処方。夕方、本剤吸入。服用2日目、夕、本剤3回目吸入後、床に就く。吸入約30分後、大声で叫び、制止したら大暴れ、走り出す等の行動が発現。廊下へ出る素振りをしたため、母親が取り押さえた。事象発現約30分後、少し落ち着き、ぐったりした様子で眠りについた。その後は異常行動認めず。服用3日目、起床してきたが、本人は覚えてない様子。		08/04/01以降 新規報告
2	B-07022066	男性	6歳	10 mg	ツロブテロール	異常行動	回復	体温39.8℃あり、受診。ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤1回目吸入。服用2日目、朝、本剤2回目吸入。夕方、体温34.6℃。本剤3回目吸入。夜間に鏡の前でボーッと立ちすくみ、大声で家中走り回り、家族の制止するのがやっとだった。明け方まで続いた。服用3日目、発熱も治まったため、本剤中止。	異常-1	08/04/01以降 追加報告
3	B-07022220	男性	6歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	夜診受診。ザナミビル水和物使用。同日夜、「あんた誰やったかな。」目の焦点合わないよう。白目をむいているよう。服薬開始2日目朝、「外で呼ばれているから」と裸足で玄関から飛び出した。同日症状回復。	異常-2	
4	B-07023277	男性	6歳	投与量不明		異常行動	回復	前シーズンにインフルエンザを発症したとき、リン酸オセルタミビルを処方したが、特に何のエピソードもなし。今シーズン、ザナミビル水和物処方。吸入後、いつ頃かは覚えていないが、まだ高熱の時に起きてきて、玄関から出て行こうとしたため、驚いて止めた。そしてそのまま布団に入ると寝た。	異常-3	
5	B-07023716	女性	6歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤(3)	異常行動	回復	受診。同日、服用開始。ザナミビル水和物1回目吸入後、約3時間睡眠。覚醒直後、ふるえ、独語、何かを探して徘徊する仕草が発現。夕、本剤2回目吸入。夜、約2時間睡眠した後、同様の異常行動が発現。症状は1時間で回復。服用2日目、朝、体温38.8℃。本剤3回目吸入後、約2時間睡眠。覚醒直後、同様の異常行動が発現。症状は1時間で回復。夜、体温38.8℃。服用3日目、朝、体温39℃。本剤吸入せず、受診。異常行動なし。	異常以外-1 3	08/04/01以降 追加報告
6	B-08027850	男性	6歳	投与量不明	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 耐性乳酸菌製剤(3)	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、本剤吸入2時間後、言葉がでない、しゃべれない、トイレに行こうとするが、違うところに行く、言葉の意味がわからない、話しかけに応じないといった行動が発現。服用2日目、吸入2時間後に同じ症状が発現。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	追加報告No	備考
7	B-08030419	女性	6歳	20 mg	ドンペリドン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	激越 異常行動	不明 不明	ザナミビル水和物服用1日目、夜、突然笑い出す、2階から飛び降りようとする行動が発現。翌朝、患者より連絡あり、本剤中止を指示。		08/04/01以降 新規報告
8	B-08030548	男性	6歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンプロキソール アセトアミノフェン	異常行動	回復	検査により、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後、急にリビングまで起き上がって来て、問いかけにも無反応。目の焦点も合っていない感じであった。		08/04/01以降 新規報告
9	B-08031179	男性	6歳	10 mg	UNKNOWNDRUG アズレンスルホン酸ナトリ ウム ボビドンヨード	異常行動	回復	39.1℃の発熱あり、受診。インフルエンザB型の診断され、ザナミビル水和物処方。 診断30分後、体温40℃となり、本剤吸入。吸入約1時間後、ムクツと起き出して走り出し、玄関でわけのわからない話をしだす(10分くらい)異常行動が発現。落ち着いてから本人に訊くも、全く覚えていない。それ以後、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
10	B-08031641	男性	6歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物初回吸入2時間後、意味不明の言動(声をかけると耳を塞ぐ、手で空中のものを捕まえようとする、急に立ち上がって歩く)が発現。事象発現から5~6時間経過後、本剤吸入。吸入1時間後、意味不明の言動が発現。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
11	B-07022682	女性	7歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アモキシシリン メクロプラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザA型と診され、ザナミビル水和物を処方。昼頃、本剤1回目吸入し、吸ってすぐ寝息を立てていた。約1時間後、睡眠時に、にらむようにヤダーと大声を出し「お母さんやめて、バカ」と繰り返し、何も無いところを見て手を突き出し、寝転んだ状態でまわりの戸やストーブを蹴っていた。5-6分くらい泣きわめいてまた就寝した。夜、本剤2回目吸入し、就寝した。夜、睡眠時に全く同様の行動をした。	異常-4	
12	B-07027815	男性	7歳	10 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン 酪酸菌配合剤	異常行動 激越	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目前日、急性胃腸炎にて38℃の発熱、頭痛あり。 服用1日目、昼頃、38℃と発熱が続く、本剤1回目吸入後、就寝。吸入3時間後、部屋を歩き回り玄関から飛び出る。階段を駆け上がった、鍵を開けて外にしまったりして、カづくで連れ戻された。体温37℃台であった。夜、本剤中止。		08/04/01以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過観察	併用薬No.	備考
13	B-08026733	男性	7歳	20 mg	臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンブロキシール メキタジン	幻覚 浮動性めまい	不明 不明	ザナミビル水和物服用1日目、睡眠から起きた後、隣に父親はいないのに、父親がいると言い、トイレに向かい、フラフラしていた。服用2日目、特に問題なく、熱も平熱。吸入は継続。さらに異常があれば、医師に連絡するということで、経過観察。		08/04/01以降 新規報告
14	B-08028509	女性	7歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸シプロヘパタジン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	咳、鼻汁あり。翌々日、受診。体温38度。インフルエンザ抗原陰性のため、鎮咳配合剤等処方。同日午後、体温39度。再診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、睡眠時に意味不明な事を言ったり、泣いたり、わめいたりした。ろうかを走ったり、壁をたたいたりした。体温38.8度。本剤中止。事象発現翌日、再診したが、意識清明。神経学的な所見なし。		08/04/01以降 新規報告
15	B-08030946	男性	7歳	投与量不明		異常行動	不明	入院中の患者。 ザナミビル水和物服用3~4日目頃、口数減少、急に飛び出す様な動作といった症状が発現。		08/04/01以降 新規報告
16	B-07022258	男性	8歳	20 mg		異常行動	軽快	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入後就寝。睡眠時、寝言を発したり、急に起き上がり動き回るなどの異常行動あり。 服薬2日目、昼夕、ザナミビル水和物吸入。異常行動ではないが、夜中うわごとが強かった。 服薬開始3日目の夜からザナミビル水和物中止。	異常-6	
17	B-07022681	男性	8歳	10 mg	塩酸シプロヘパタジン カルボシステイン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物1回目吸入し就寝。昼過ぎ、本剤吸入し、再度就寝。就寝1時間程後に、突然、ケタケタ笑いながら部屋を走り回る。10分程で落ち着く。その後は異常行動発現のため本剤中止した。熱は続いたが異常行動は見られず。	異常-7	
18	B-08025159	女性	8歳	20 mg	テオフィリン アジスロマイシン水和物 麻黄附子細辛湯	異常行動	不明	インフルエンザで来院。ザナミビル水和物処方。 服用3日目、41℃の発熱あり、暴れて、家を飛び出すといった異常行動が発現。本剤は中止せず、併用薬でアジスロマイシン水和物と麻黄附子細辛湯を処方。		08/04/01以降 新規報告
19	B-08026723	女性	8歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚 記憶障害 異常行動	回復 回復 回復	38.5度の発熱のため、受診。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、壁をガリガリしたり、歩き回る。黒いものが出てきて踏まれるなど、なんらかの幻覚を見て話す。本人は全く覚えていない。 翌日、解熱していた。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo	備考
20	B-08028229	女性	8歳	投与量不明	アシクロビル	異常行動 意識レベルの低下 意識消失	不明 不明 不明	インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。 服用2日目、深夜、トイレに行くと呼んで、急に起き上がってトイレの前で倒れた。意識がもうろうとしていた。		08/04/01以降 新規報告
21	B-08028726	男性	8歳	投与量不明		異常行動	回復	夜、子供部屋で寝ていたのに、親が様子を見に行ったら子供部屋におらず、別の部屋で寝ていた。		08/04/01以降 新規報告
22	B-08029026	女性	8歳	10 mg	エチルコハク酸エリスロマイシン イシン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール 塩酸ソプロテロール ピコスルファートナトリウム アセトアミノフェン	異常行動	軽快	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
23	B-08030551	男性	8歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断あり、ザナミビル水和物服用開始。 服用3日目、夜、本剤吸入後、睡眠時に奇声をあげ、走り出す異常行動が発現。その後も本剤吸入継続したが問題なし。 服用5日目、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
24	B-08031177	男性	8歳	10 mg	d-マレイン酸クロルフェニ ラミン カルボシステイン ジプロフィリン・ジヒドロコ デイン配合剤	異常行動	回復	39.1℃の発熱あり、受診。検査にてインフルエンザB型と診断され、 ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤吸入約2時間 後、睡眠していたところ、急に起き出し隣の部屋に行き、部屋が狭 いと言った。母親が子供を落ち着かせると、こわい思いをしたと話 し、その間のことは覚えていないと話す。医師に連絡し本剤中止の 指示。 本剤中止後、異常行動の発現なし。		08/04/01以降 新規報告
25	B-08031181	男性	8歳	20 mg		異常行動	未回復	ザナミビル水和物服用2日前より、発熱あり。 服用3日目、大声を出したり、パンチやキックをしたり、飛び降りそ うになったため、入院。		08/04/01以降 新規報告
26	B-08031182	女性	8歳	20 mg	鎮咳剤	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夕、本剤初回吸入。深夜(吸入約6 時間半後)、急に起き上がり、家の中を徘徊する行動が発現。別の 部屋に行き、意味不明の言葉を発した。体温38.2℃。 服用2日目、起床時には特に問題なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過
27	B-08031336	男性	8歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日目、お化けがでる、檻がある等と言いながら、起き上がり、ふらつきながら玄関の戸を開けて出て行こうとした。		08/04/01以降 新規報告
28	B-08031466	男性	8歳	20 mg	ヒベズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	ザナミビル服用1日目、午前中、体温37.8℃。咳、腹痛あり。本剤初回吸入。夜、本剤吸入約2時間後、睡眠時、異常に興奮。30～60分おきに大声を出す。約10時間、症状継続。 服用2日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、動きまわる、幻聴、自分はしゃべりたくないのに勝手にしゃべると言いながら話す。夜、本剤吸入3時間後、睡眠時、異常に興奮。急に起きて、ワーンと声を出し大騒ぎし、親にも足で蹴るなどの乱暴な行動が発現。体温38℃。 服用3日目、午前中、体温36℃台。医師の指示により、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
29	B-08032140	男性	8歳	10 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用3日目、リュックを持ちベランダへ向かい歩いていくところ、家族に制止。その後も落ち着きがない様子。熱は下がっていた。本剤中止。 服用開始から4日目、症状消失。		08/04/01以降 新規報告
30	B-08032141	女性	8歳	20 mg	フマル酸クレマスチン ヒベズ酸チベピジン カルボシステイン	異常行動 落ち着きのなさ 激越	不明 回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日服用開始。吸入2～3時間後、興奮して「行かせて、行かせて」と、家人を振り払って外に出て行こうとする、笑ってお母さんにつかみかかってくるといった症状が発現。夜、本剤吸入2～3時間後、同様の症状が発現。		08/04/01以降 新規報告
31	B-06026559	女性	9歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、ザナミビル水和物処方。本剤を吸入してから約11時間後、突然起きて、恐い、助けてと言いながら、家中を歩きまわった。母が止めても強い力でふり払った。深夜、眠っていたが、突然、体を起こし、同様な行動。すぐに意識清明となり、恐い夢を見たと言った。翌日夜も同様な行動。	異常-8	
32	B-07020144	男性	9歳	20 mg	セフトレキシム カルボシステイン ヒベズ酸チベピジン 耐性乳酸菌製剤(3) アセトアミノフェン	異常行動	回復	朝、38.7度。ザナミビル水和物を吸入開始。 服薬2日目夜、父親が掃宅したのをきっかけに、突然洗面所、クローゼットに行き、物を探し始め、母親が尋ねたところ、鏡を探していたと言ったとのこと。そのとき38.9度の発熱あり、後で本人はそのことを覚えていない。その後も本剤吸入を続ける。	異常-9	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	用量	剤形	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
33	B-07020446	男性	9歳	20 mg	ブランルカスト水和物 プロピオン酸フルチカゾン	異常行動	回復	服薬1日目、朝、眠っていたが、突然起きて、怖いと訴える。立ち上がり部屋を歩く。目が開いていても、ずわっているよう。ザナミビル水和物1日2回吸入を開始。朝、本剤吸入1時間半後、5時間半後、7時間半後に前述と同様の異常行動出現。夜吸入後にも同様の異常行動出現(見当意障害、幻視)。 服薬2日目朝夕、本剤吸入。睡眠時に同様の異常行動(見当意障害、幻視)。前日同様、何かにおびえるが本人記憶なし。 服薬3日目朝、本剤吸入。ほぼ問題なし。異常行動消失。	異常-10	
34	B-07023377	男性	9歳	20 mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベジジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。吸入約5時間後、体温38.6。急に立ち上がり意味不明のことを話。何かを探すように2-3分動き回った。その後入眠。 服薬2日目朝、体温36.0。本剤吸入、以後軽快。	異常-11	
35	B-07023491	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	服薬1日目、インフルエンザ診断。昼、ザナミビル水和物吸入。夜、熱でうなされ、母親が押さえつけるのに大変であった。このとき、起き上がり歩いたとの情報あり。ザナミビル水和物中止。 服薬中止翌日、朝、軽快。	異常-12	
36	B-07023708	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザテストでA(+)と判明し、診察室でザナミビル水和物を医師の指導下で吸入しその後就寝。就寝約2時間後、昼寝から醒めた。目がギラギラとしていていつもと違う感じだった。母親が「調子が良くなったのじゃないの?」と聞くと、「飛行機が…、お母さんが言ったのに」など、質問とはかけはなれた答えが返ってきて、つじつまの合わない内容だった。興奮してギャーギャーという。布団の上でうつぶせになり、上半身を布団に打ちつけていた。母親が落ちていてと抱きしめたところ、次第に興奮が醒めて、泣いた。「言いたくなかったのに言っちゃった」という。このエピソード、その間3分位、以降通常通りとなる。同日夜、本剤吸入1時間後に就寝したが、約2時間半後、急にぱっと起きた。歩いてきてスポーツ飲料を飲んだが、興奮して手がふるえてボトルを持っていた。泣きながらギャーギャー言う。昼間ほどではなかった。この間3分くらい。その後通常に戻る。 2日目、投与中止。	異常-13	
37	B-07023714	男性	9歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン 塩酸アンプロキソール	異常行動	回復	服薬1日目、ソ連型と診断し、ザナミビル水和物処方。夜吸入1時間後、異常行動発現。「俺は死ぬ」「頭がおかしくなる」などと呼び、玄関へ走り出した。体温40.2度。 服薬2日目、一眠りし、回復。その後異常行動再発なし。	異常-14	
38	B-07024758	男性	9歳	10 mg	クラリスロマイシン カルボシステイン ヒベンズ酸チベジジン 塩酸オロパタジン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてインフルエンザAと診断され、午前中にザナミビル水和物吸入。昼頃、睡眠をとった後、夕方覚醒した直後に、家の中をウロウロしてソワソワして落ち着かない様子。5分ほど症状継続した後、自然に回復した。副作用により本剤中止。	異常-15	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	内服薬名	性別	年齢	一日用量	処方薬	副作用	経過	経過の概要	対応	備考
39	B-07025289	女性	9歳	20 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン 酒石酸アリメマジン 塩化リゾチーム	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザ検査にてA型と判定する。朝、ザナミビル水和物初回吸入。夕方頃、ザナミビル水和物2回目吸入。約3時間後、突然ふとんをもって走り出した。両親がびっくりしてだきかかえた。その後落ち着いてまた眠りについた。 服薬2日目、熱も少し下降し、調子もよくなってきた。	異常-16	
40	B-07025370	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温38.5℃。全身倦怠強く、咽頭痛あり。本剤1回目吸入。夜、体温36.0℃、全身倦怠も軽快。本剤2回目吸入3時間後、就寝したが、就寝1時間後に突然覚醒し、走り回った。呼びかけにも反応しなかった。このような症状がみられたため、以後、本剤中止。	異常-17	08/04/01以降 追加報告
41	B-08002428	女性	9歳	20 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸ジフェンヒドラミン クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方、体温39.4℃。本剤1回目吸入後、就寝したが、夜半、寝室から台所まで歩き、くるくる回り兄の名前を呼んでいた。 服用2日目、解熱。本剤は継続服用していたが、その後は異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告
42	B-08003504	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン モンテルカストナトリウム カルボシステイン ツロブテロール ラクトミン	異常行動	回復	服用1日目、睡眠中、突然起き上がり、大声を出しながら、ベッドの上で飛び跳ねたり、部屋をかけ回ったりした。数分間継続していたが、次第に落ち着いてきた。救急車にて受診時、興奮状態は落ち着いていた。		08/04/01以降 新規報告
43	B-08028343	女性	9歳	10 mg	セフトレキシムピボキシル カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	体温39度、咽頭痛、頭痛、咳あり、翌日、受診。他院39.4度、頭痛、嘔気あり、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤初回吸入後、約1時間入眠。体温39度。本剤初回吸入1時間後、「ママ、ママ」と言いながら玄関に走って行き、その後窓を乗り越えようとするなどの行動が発現。体温38.3度。		08/04/01以降 新規報告
44	B-08028344	女性	9歳	20 mg		異常行動	回復	38℃の発熱あり、キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入約3時間後、2階で寝ていたが突然「外へ行く」と言って、1階に降りてきたところ洗濯していた母親に発見された。体温39℃。本剤吸入約9時間後(事象発現6時間後)、体温38.0℃。覚醒した時に自分の行動について覚えていない。ただ「悪い夢を見ていたような気がする」と言う。 服用2日目、体温37.5℃。医師の指示により、解熱後は異常行動が認められないことから、本剤継続。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	薬剤名	性	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	追加No	備考
45	B-08028345	男性	9歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。服用2日目、昼、本剤吸入約2時間後、極端なおびえを訴える、何かにおびえ動き廻り、兄弟、姉妹の名を呼びあげ殺されてしまった、と言い泣いている、両親(父母)がピストルを持って殺しに来るなどと言うといった症状が約2分間発現。体温39度。本剤初回吸入約7時間後、同様の症状が約2分間発現。体温37.4-38度。		08/04/01以降 新規報告
46	B-08028717	男性	9歳	20 mg	プロピオン酸フルチカゾン アセトアミノフェン	異常行動 意識変容状態	回復 回復	38.2℃の発熱あり、受診。ザナミビル水和物等処方。同日服用開始。夜、本剤吸入約3時間後、就寝。吸入約3時間20分後(就寝20分後)、泣き起きてベッドから慌てて出てくる。抱きしめてなだめるが、手を振り払うようにし、居間のコタツの周りをグルグルと走り始める。歩きたくはないのにじっとしていられないといった表情に見える。走るのを止めるように促し、水分摂取などをすすめるが拒否。腹痛を訴え、約5時間にわたって、排便(下痢)あり。その後、就寝。服用2日目、朝、体温37.8℃。機嫌よく起床。昨夜のことを本人に話すと、歩き回った記憶はなし。夜、本剤吸入約3時間後、就寝。吸入約3時間半後(就寝30分後)、急に起きて、枕を何度も叩きつけた後、横になる。その10分後、起き出し、コタツの周りを走り始める。数回走ったところで急に、寝る、おやすみ、と言って自分で布団に戻る。前日と同じように何かに走らされているような表情。楽しく歩いているような感じではなく、走らされている(走らないといけない)といった様子に見える。 服用5日目、インフルエンザ治癒し、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
47	B-08030542	女性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 頭痛 不眠症 異常行動	回復 回復 回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温37.2℃。夕、本剤吸入3時間後、就寝。吸入約5時間後(就寝約2時間後)、寝ていてがばっと起きてどこかへ行こうとする行動が何回も発現。何人も人が言い争う声がうるさいと泣く。母のことがわからず、目はパチッと開いて言葉もはっきりと言った。制止するとおとなしくなる。幻聴は覚えていた。本剤中止。 服用開始から2日目、昼、体温38℃。寝ていて途中で起き、しばらくして泣き出して落とし穴がどうこうと話し出す。「あの人たちが邪魔」とも言っていた。 服用開始から3日目、体温38℃台。異常行動はなし。 服用開始から5日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
48	B-07001159	男性	10歳	20 mg		異常行動	軽快	ザナミビル水和物吸入1時間後にこわいと言って大声を出した。夜、再度吸入後、夜中に急に起き出して暴れた。翌日、本剤の投与中止。昼、家の中で急に走り出し、おもちゃの刀を振り回した。いずれも本人は全く記憶はなく、怖かったことだけ覚えている。	異常-18	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回来院No.	備考
49	B-07021955	女性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ抗原(+)Aにて、ザナミビル水和物処方。 服薬1日目、1回目の吸入後、押入れに入りノックする。外に出て行こうとした。 服薬2日目、朝・夕2回吸入したが、異常行動はみられなかった。	異常-19	
50	B-07022219	男性	10歳	20 mg	ドンペリドン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。 服薬1日目夜、就寝していたが、明け方頃、「何か起きたの?どうしたの?」とガバッと起き出し、階段のところまで走り出した。「何も起きていないよ。」となだめたがしばらく興奮状態が続いた。「どんな夢見たの?」と聞くと、「公園で遊んでいたら、こっち集まれ!って呼ばれたから何か起きたのかと思った。」と答えた。	異常-20	
51	B-07022580	男性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、迅速診断キットにてインフルエンザと診断され、ザナミビル水和物等処方。 服薬2日目朝、本剤吸入。夕方、突然起きて「助けて」と叫んで部屋の中を走り回る。正常な時と異常な時が入り混じる。異常な時は3-4分。大声を出す。お母さんはわかるが「お母さんを殺しちゃった」と言う(体温37度台)。本剤を服用。就寝時「こわい」と訴えた。眠ってから突然起きて辺りを見回すことが2回程あった。	異常-21	
52	B-07023804	男性	10歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン ビフィズス菌製剤(4) 塩酸シプロヘプタジン ビスキンサン製剤 アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、キットでインフルエンザA陽性と診断。夜自宅でザナミビル水和物吸入後、就寝。寝ていて起きたり不穏な状態が30分位続いて、母親が不信に思った。本人は覚えていない。 服薬2日目、外来で診察。解熱し元気であり、インフルエンザの症状は軽快していた。前夜の異常行動の報告を受けたが、インフルエンザの治療の為、ザナミビル水和物吸入。昼過ぎ、睡眠していないが、トイレに何度も行くので、母親が「どうしたの?」と聞いても本人は何のことかわからないようであったとのこと。全身状態良好にて本剤中止。	異常-22	
53	B-07024312	男性	10歳	10 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ツロプテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてインフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物吸入。 服薬2日目、朝 覚醒直後、部屋の中をうろろう、壁に向かっていった。意味の分からないことを言ったり、急に起き上がった。すぐに回復した。 その後、4日間ザナミビル水和物吸入継続。	異常-23	
54	B-07025366	不明	10歳	20 mg	アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	9~10歳の患者。ザナミビル水和物服用1~2日後、夜、こたつの中に何かいると言ったり、寝ている2階から寝具を持って来てウロウロしたりする。その後、異常なし。	異常-24	08/04/01以降追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	前別号	性別	年齢	1日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
55	B-07025373	男性	10歳	20 mg	ブランルカスト水和物 塩酸プロカテロール カルボシステイン 硫酸サルブタモール	異常行動	回復	服薬1日目、迅速キットでインフルA陽性。ザナミビル水和物吸入。夜中、就寝中に急に起き上がり、室内を走り、玄関の鍵を開けようとしたり、居間のカーテンを開けた。親が制止。子供はトイレへ向かい、排尿してすぐに寝た。(5分間)翌朝、本人は何も覚えていなかった。 その後、3日間ザナミビル水和物吸入継続。	異常-25	
56	B-07025475	男性	10歳	20 mg		異常行動 幻覚	回復 回復	服薬1日目、キットにてインフルエンザAと診断。ザナミビル水和物吸入。夕方 家が爆発する幻覚が出現し家を飛び出した。15分後、親が気がつき携帯電話で呼んだところ、受信音で気づいて自分にもどって家に帰った。帰宅。 服薬4日目までザナミビル水和物吸入継続し、異常行動の再発なし。インフルエンザ改善により、ザナミビル水和物の投与終了。	異常-26	
57	B-07025977	男性	10歳	20 mg		異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザにて、ザナミビル水和物吸入。夜 ザナミビル水和物吸入し、就寝。就寝中に「大きい物に押しつぶされちゃう」と言ってトイレにかけ込む、を数回繰り返す。 その後、3日間ザナミビル水和物吸入継続。	異常-27	
58	B-08000805	女性	10歳	10 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服用開始1日目、ザナミビル水和物1回目吸入し1-2時間入眠した後、とびおきて壁に額の熱さまシートをはりつけて、「たまいどこ?」と言いながら、何かを探しまわるような行動をおこし、突然ひっくりかえる様な行動をした。その間、焦点は定まらず。その後再び1時間眠り、突然起きて普段と異なる声色で笑いだした。以降、本剤中止。 服用開始より2日目、異常行動消失、意識清明となった。		08/04/01以降 新規報告
59	B-08001685	男性	10歳	20 mg	イブプロフェン	異常行動	回復	迅速診断にて、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。体温40℃。夕方、本剤1回目吸入3時間後、10分間の錯乱状態が発現。泣いて外に出ようとし、異常な力で大人2人で制止。意味不明な内容を涙を流して叫んだ。 事象発現10分後、通常の状態に戻った。 以降、本剤吸入にて異常、問題行動の発現なし。 服用2日目、解熱し、登校。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過
60	B-08020975	男性	10歳	10 mg	リン酸ジメモルファン dl-マレイン酸クロルフェニ ラミン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、本剤1回目吸入約1時間後、睡眠中、突然起きだしトイレに走って行き、ドアの開閉を繰り返し、電気の消灯を繰り返した。大人がもう一人いないとトイレに行けない、タオルがいつぱいないと困ると言い、排尿を見て、けらけら笑う。クラスメートがいると言い、母親が落ちつきなさいと言うと、はい、と返事をして、大量発汗後に、意識レベル回復。本人は、全く憶えてないとのこと。そして再び熟睡。数時間後、マンガの本を指差して、1冊しかないものをいつぱいある、と言う。母が同意すると、本にのって行っていい?と尋ねる。その後再び発汗し回復した。夜間、体温は37.3℃。本剤中止。服用開始から2日目、朝、行動はおさまり、平常になる。		08/04/01以降 新規報告
61	B-08024819	女性	10歳	5 mg	アセトアミノフェン イブプロフェン メキタジン	異常行動	回復	体温38.5℃。インフルエンザA型の診断にてザナミビル水和物を処方される。昼頃、本剤初回吸入した。夕方、睡眠中に突然意味不明の事を言う、風呂場へ入ろうとする。質問すると「落ちる夢を見た」と言った。この時、体温は正常であった。副作用により、本剤中止。その後熱もなく全く異常なし。		08/04/01以降 新規報告
62	B-08027290	不明	10歳	投与量不明		異常行動	不明	ザナミビル服用1日前の夜より、約39℃の発熱あり。翌日、ザナミビル水和物処方され、服用開始。服用2日目、36.7℃まで熱は下がったが、目線が合わなくなったり、腕をぐるぐる振り回したりしていた。指をぐるぐるしたり、指差したりした。うなづく動作が大きかった。トイレに行こうとしてお風呂に行った。トイレで手に尿をかけた。10分くらい異常行動があり、その間の記憶はない。服用3日目、医師に相談し、本剤中止の指示あり。		08/04/01以降 新規報告
63	B-08027294	男性	10歳	10 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ベシル酸ペボタスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	体温38.5℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方より、本剤吸入。服用1日目または2日目、本剤吸入1~2時間後、急に泣き出す、ティッシュを持って洗濯機に入れに行くといった行動が発現。いずれも5分程度の行動であった。服用3日目、朝、発熱はなし。本剤吸入1~2時間後、目が血走った感じで暴れそうになる行動が発現するも、5分程度であった。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	用量	併投薬	副作用	経過	経過の概要	初回通報NO	備考
64	B-08027536	男性	10歳	10 mg	アセトアミノフェン ジブロフィリン・メキシフェ ナミン配合剤 クラリスロマイシン	異常行動	回復	体温39.5℃、咳などがあるため、受診。迅速診断にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約30分後、アセトアミノフェン等服用し、入眠。吸入約2時間後、体温38.5℃位となるも発熱継続。吸入約5時間半後、体温38℃にておきだしてトイレへ行く。その後、意味不明な言語を発す。呼びかけに反応あり。「大丈夫、何ともない」くりかえす。すわりこみ、挙動不審となり、あたりをみまわす、急に壁に向かい体をあてる行動が発現し、母親がだきかかえ行動抑制する。しばらくしておちつく。「こわかった、何もおぼえていない」とくりかえす。約30分症状が持続した後、おちつきを取りもどす。その後は発作や異常行動なし。本剤中止。 服用開始から2日目、朝、体温36.8℃、症状軽快。		08/04/01以降 新規報告
65	B-08028503	女性	10歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	異常行動	回復	来院時、体温37.9℃、咳、咽頭痛あり。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物等処方。同日、昼、夜、本剤吸入。体温は37.5℃。 服用2日目、朝、本剤吸入。夕方頃、2階で眠っていた部屋の窓を開け、外のドアをつたって隣室のベランダに居た。階下にいた母が物音に気付いて2階に上がり、ベランダにいる女兒を発見。うつろな様子で「色々夢を見た。隣の部屋に姉がいると思い、行きたかったが、直接入ると風邪をうつすので、外のベランダから部屋の中を見るつもりだったと説明。母が布団に寝かせると、そのまま眠った。本剤中止。体温は37.1℃。 本剤中止から2日目、平熱にもどった。 本剤中止から4日目、以前に比べハイテンションで動作が大きさに思われるのが気になるとのこと。		08/04/01以降 新規報告
66	B-08028504	男性	10歳	10 mg		熱性譫妄	回復	体温37.4℃。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。 本剤初回吸入後、入眠。睡眠1時間にて目覚めた後、訳の分からないことを話し、服を着て学校へ行こうとした。 事象発現約1時間後、再診。応答はほぼ正常であった。熱せん妄の疑いと診断。本剤中止にて回復。		08/04/01以降 新規報告
67	B-08028508	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	体温38度、全身の関節痛あり。翌日、体温38.8度、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤初回吸入9時間後、横になっていたが、暴れ出した。親がおさえなかつたら階段から落ちた可能性あり。本剤中止。 服用中止翌日、同様にあばれた。その後、軽快。		08/04/01以降 新規報告
68	B-08028511	男性	10歳	20 mg	塩化リゾチーム メクロプラミド アセトアミノフェン	神経系障害	回復	ザナミビル水和物服用2日目、深夜、睡眠中にとつぜん起きあがり歩き回る、幻覚、幻聴、叫ぶといった症状が発現。 翌朝、起床後、母が確認するが、昨晚の出来事を覚えていない。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	一日用量	処方薬	副作用	経過	経過の概要	担当医師	報告
69	B-08028611	男性	10歳	20 mg	イブプロフェン	異常行動	回復	発熱あり。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物等処方。同日、深夜、意味不明な言動が発現。ベッドの上から「飛ぶ」と言う。また、部屋内を走り回る。母親が氷枕を手に握らせ落ち着くが、母親の顔の一点を見つめていた。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
70	B-08028613	男性	10歳	投与量不明	カルボシステイン フェンジソ酸クロペラスチン	異常行動	不明	ザナミビル水和物吸入約2時間後、突然走り出す、無意味な動作の繰り返しといった行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
71	B-08028614	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	体温39℃、関節痛あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼頃、本剤吸入後、就寝。本剤吸入約1時間後、2階から泣きながら、恐怖の表情で階下におりてきた。パンツを下ろした状態で怯えた状態。5分後に水を飲んで元に戻る。記憶はなし。夜間、本剤吸入するも、以後、異常なし。 服用2日目、解熱。 服用4日目、インフルエンザ治療にて本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
72	B-08028718	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	ザナミビル水和物服用2日目、夜、急に玄関から外に飛び出す異常行動が発現。服用3日目、異常行動発現時の記憶なし。異常行動は軽快。 服用5日目、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
73	B-08028723	男性	10歳	20 mg	ヒベンズ酸テベピジン トラネキサム酸 塩酸フェキソフェナジン カルボシステイン	異常行動	回復	体温38.6℃にて、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後、就寝。就寝約30分後から約4時間半に渡って、1時間毎に飛び起きて徘徊行動が発現。視線は合わさず、うわ言を言う。体温37℃。就寝5時間後、再度、就寝。 服用2日目、朝、本剤吸入直後、部屋の中をグルグル徘徊し、呼びかけにも応じず。体温37℃、救急外来受診。本剤中止を指示。帰宅後も再度同様な症状発現。夜、一度寝た後、急に起きて歩き回る。親が押さえつけて症状おさまる。 服用開始から3日目、体温36℃。その後は異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告
74	B-08029310	女性	10歳	20 mg	イブプロフェン	意識変容状態 腹痛	回復 軽快	朝から高熱(38.9℃)あり、家人も同様の症状でインフルエンザA型だったため、ザナミビル水和物服用開始。 服用2日目、早朝、腹痛あり。階段を降りようとして意識消失、転落。転落後、自分で立ち上がりトイレへ。転落時の記憶はないが、それ以降、解熱し、問題なし。		08/04/01以降 新規報告
75	B-08029429	男性	10歳	10 mg	クラリスロマイシン イブプロフェン ベタメタゾン・d-マレイン酸 クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夕、少しバタバタする等の行動が発現。明け方、走り回る等の行動が発現したため、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用番号	備考
76	B-08030244	女性	10歳	20 mg	麻黄湯 トラネキサム酸 ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ビフィズス菌配合剤	異常行動	回復	38.2℃の発熱、咳、鼻水の症状より来院。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、夕、寝ていたところ急に起きだす、急に大声で泣き出すといった異常行動が発現。親が心配になり救急搬送。到着すると何もなかったように普通に戻った。解熱剤を処方され帰宅。本剤中止。 服用開始から3日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
77	B-08030345	男性	10歳	20 mg	オキサトミド برانلكاست水和物 ドンペリドン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン 塩酸アンブロキソール ビフィズス菌製剤(4)	異常行動 骨折	回復 不明	ザナミビル水和物服用2日目、深夜、布団の上で覚醒して、布団の上で上肢をバタバタと叩く動作をくり返して、突然立ち上がり、トイレに行った後、玄関から飛び出した。家族が追いかけたが見失い、約30分後に20mぐらい離れた場所にうずまっているのを家族が発見。そのとき、足が痛い、大勢の人が死んでしまったが僕だけ助かったと言っていた。 後日、右足は骨折していたが、どのような状況で骨折したかは不明。		08/04/01以降 新規報告
78	B-08030416	男性	10歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、体温37.4℃。夕、本剤吸入直後、部屋の中を走り回る行動が発現。行動はしばらくすると落ちついた。本剤継続。 服用4日目、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
79	B-08032016	男性	10歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物1回吸入したが、インフルエンザの症状が治まらないため、入院。夜、本剤吸入2時間後、病室を飛び出し、意味不明なことを叫んだ後、失禁。その後、落ち着かせて一眠りさせると回復。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
80	B-08032022	男性	10歳	投与量不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物初回吸入後、水があふれると言いながら、走り回り、家を飛び出した。家人の制止により、一大事にはならなかった。以降、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
81	B-06026553	男性	11歳	10 mg	塩酸エピナステン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン ツロプテロール リン酸ベンプロベリン カルボシステイン テオフィリン	異常行動 悪心 嘔吐 意識レベルの低下 尿失禁	回復 回復 回復 回復 回復	ザナミビル水和物を処方。急に立ち上がり、親の制止を振り切って、走り出した。その後救急搬送され、翌日は異常行動なし。	異常-28	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
82	B-07001162	女性	11歳	20 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	自殺念慮 頭痛 浮動性めまい 異常行動 激越	回復 回復 回復 回復 軽快	インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物開始。投与2日目の朝、本剤使用4時間後、突然大声で叫び、2階の窓から落としてと言ひ、気持ち悪いとものがく為、だきかかえながら、親がおさえつけていたら、普通の状態に戻り入眠。その後、本剤を服用するも何の症状も発現せず。	異常-29	
83	B-07022446	男性	11歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。夕方からザナミビル水和物吸入開始。服薬2日目朝、入眠約4時間半後、2階で寝ていたが、急に起きだし、片方の靴下のみをはき、ぬいぐるみを持ち、2階から階段をおりてきた。母親が玄関で、どこに行くの、とたずねたところ、外に行く、と答えたため、母親が制止し、再び2階に連れて行き寝させる。本人の記憶なし。その後異常行動なく解熱。	異常-30	
84	B-07023213	男性	11歳	10 mg	ラクトミン クラリスロマイシン セラペブターゼ	異常行動	回復	体温40℃あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物を処方。同日、服用開始。夕、体温39℃。本剤1回目吸入したのが特段の異常なし。服用2日目、朝、体温37.7℃。その30分後、体温39.0℃。本剤2回目を吸入直後、大人数の人が大声でさわいでいると怒鳴り、突然立ちあがり、走り出した。吸入約2時間半後、家人数人で取り押さえ、症状おさまる。その後は何も起こっていない。	異常-31	08/04/01以降追加報告
85	B-07023215	男性	11歳	20 mg	テオフィリン ツロブテロール 酒石酸ゾルピデム キシナホ酸サルメテロー ル・プロピオン酸フルチカゾ ン	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザの診断でザナミビル水和物を処方。夜吸入後1-2h。寝ていたが急に起きて訳の分からないことを言ったり、物にしがみついたりする。落ち着きがなくなり、部屋中を動き回り、手がつけられない状態になった。10数分続き寝つかせる。服薬2日目朝、翌朝は早く目覚めたが、症状は消失していた。	異常-32	
86	B-07025023	女性	11歳	20 mg		異常行動	不明	ザナミビル水和物を1日2回、1回2B、3日間吸入したところ、夜中に飛び起きて部屋を歩き回った。	異常-33	
87	B-07025369	女性	11歳	2 DF		異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。夕方、1時間ほどの睡眠中に大声を出し、走り回った。その後、寝かそうとしたが、不安感や不快感を訴え、なかなか寝付かなかった。約10分間症状が続き、消失した。	異常-34	
88	B-07026756	女性	11歳	10 mg	フマル酸クレマスチン カルボシステイン	異常行動	回復	38.7℃の発熱あり、受診。インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。午後、うわごと、わめき声あり。夕、本剤吸入。服用2日目、未明、袋を取ってきてと叫び、ちがうと言ってわめく。ゴミがベッドにあると言ったあと、おびえて起き上がりどこかへ行こうとした。午前中、全身倦怠感あり、外来で点滴処置。本剤終了。	異常-35	08/04/01以降追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	初回報告NO	備考
89	B-07025374	男性	11歳	20 mg	ロラタジン トラネキサム酸 ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン ラクトミン	妄想 異常行動	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温38.6℃。インフルエンザ様症状発現。 翌日、昼、鼻水、のど痛、吐気、腹痛により受診。本剤1回目吸入。夜、本剤2回目吸入。10分程、妄想(頭に数字が浮かぶ)、異常行動(範囲を決める行動をとる)が発現。 服用2日目、朝、体温38.9℃。朝起きると、5分程、何かを探すといった異常行動が発現。昼、解熱し、妄想、異常行動は回復。本剤継続するも、以降、異常行動はなし。	異常以外- 24	08/04/01以降 追加報告
90	B-08001422	男性	11歳	20 mg	クラリスロマイシン カルボシステイン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼食前に、他剤もあわせて本剤初回吸入。夕食後、本剤吸入。吸入前後はずっと就寝していた。 服用2日目早朝、急に起き上がり、恐怖に怯えた様子で暴れだした。放っておいたらどこかへ行きそうだったために両親で制圧。10分ほどで落ち着いた。再び就寝する。 同日再診。熱も下がっているため、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
91	B-08003032	男性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン 麻黄湯	異常行動	軽快	ザナミビル水和物服用1日前、夕方頃、体温38.1℃。眠気、頭痛、発熱あるも、発熱から1時間にて検査せず麻黄湯、アセトアミノフェンを処方され帰宅。同日、夜、体温39℃。 翌日、午前中、体温37.9℃。検査にて、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物を処方。昼、夜、本剤吸入。夜、体温39℃。深夜、アセトアミノフェン服用。明け方、覚醒直後、幻覚、興奮して走り回る行動が発現。体温38.8℃。 本剤服用は1日目のみで終了。 服用開始から2日目、昼頃、同様の行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
92	B-08028512	男性	11歳	20 mg	フェンシゾ酸クロペラスチン 塩酸ジフェンヒドラミン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	夕方より発熱し、来院。迅速検査にてインフルエンザA型との診断にて、ザナミビル水和物処方。夕食後、本剤初回吸入。深夜、パツと起きだして、大勢の人に追われているような素振りで「いやだ、いやだ」と言ったり、「今日はパーティーのようだ」と言い出し、踊りだしたりした。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。深夜、約2時間半、家中の電気を点ける行動が発現。 服用3日目、本剤中止。同日、深夜の症状はなし。 なお、以前、リン酸オセルタミビル服用した際、異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	症例番号	備考
93	B-08028612	男性	11歳	投与量不明	クラリスロマイシン アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	異常行動 異常行動	回復 不明	患児は1~2年前、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物の使用経験あり。その際、何か物を探すような動きをしたり、いつもと違う姿にあまえるようなことがあったり、何かを追いかけてくると言ったりしていたとのこと。 ザナミビル服用2日前、38.6℃の発熱あり、来院。検査するもインフルエンザウイルス陰性にて、抗生剤等処方。 服用1日前、検査(2回目)するも、陰性。 服用1日目、38.5℃と再度発熱したので、再来院。検査(3回目)にて、インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方され、本剤服用開始。初回吸入後、就寝。吸入約1時間後、起きたが、少しぼんやりしていた。トイレに行くと言って立ち、自分の部屋に行つてズボンをおろしていた。トイレに連れて行こうとすると「うー」とうなり声をあげたり、唇をとがらせるような表情をした。しばらくねぼけた様子であった。夜、本剤吸入後、就寝。深夜、トイレに行くがボーっとしていた。 服用2日目から5日目、本剤継続するものの、再発はなし。		08/04/01以降 新規報告
94	B-08029577	男性	11歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) ビフィズス菌製剤(4)	異常行動	回復	体温38.3℃あり、受診。ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。朝、本剤吸入。夕、就寝約1時間後、起き出して走り、ドアノブをつかんで外に出ようとした。母親がとりおさえたがボーっとしていた。2~3時間で正常となったが何も覚えてない。体温37.6℃。本剤2回目の吸入は中止。		08/04/01以降 新規報告
95	B-08030545	女性	11歳	20 mg	クラリスロマイシン 葛根湯 アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤吸入後、患者がベッド上で跳ね、ブツブツうわ言を言った。		08/04/01以降 新規報告
96	B-08032018	男性	11歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日目、夕、おかしな言動、部屋を走り回る行動が発現。トイレで便器に顔をつっこみそうになったりした。 服用3日目、医師に相談し、症状が落ち着いているため、自宅にて療養。		08/04/01以降 新規報告
97	B-06026555	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型にて、昼、夕、ザナミビル水和物服用。翌早朝、夢を見ていたようで、飛びおき、かけおきるように階段をおり、幻覚から異常にこわがり、5分間落ち着かなく、そわそわしていた。その後も本剤を使用するが、異常行動なし。	異常-36	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	用量	剤形	副作用	経過	経過の概要	副作用名	備考
98	B-07020147	男性	12歳	20 mg	臭化水素酸デキストロメ ルファン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	A型インフルエンザ感染症と診断され、ザナミビル水和物処方。 服薬1日目夕方頃、本剤1回吸入直後、異常行動発現。訳のわからない事を言う。部屋を歩き回る。手で体をたたく。患児は覚醒状態であった。 吸入4時間後、突然家の外に出る。ドアの閉まる音で親が気づき、道路にいる患児を見つけ、家に連れ戻した。救急車で搬送。入院時には、体温は37.5℃前後まで低下。救急隊員によると患児の意識レベルは低い状態であったが独りで歩ける程度。入院後、「ベットに立ち上がり、壁にいる魚を取ろうとしていた」(壁に魚はおらず、幻覚様の症状あり)。 服薬2日目以後、異常行動は認めず。入院中は、家族によると患児は通常の状態に比べ意識レベルが低下したような状態であった。	異常-37	
99	B-07023606	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。夕方、廊下を走り、水道の蛇口をひねる。本人は無意識であった。異常行動は断続的に1時間以上にわたり発現していた。	異常-38	
100	B-07024064	男性	12歳	20 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン ロラタジン	異常行動	回復	服薬1日目、薬局でザナミビル水和物吸入。深夜、突然起き上がり、意識明瞭でない状態でトイレに行き、その後玄関に出てエレベーターホールの前まで行く。(父が部屋に戻し眠らせる。その後夜中に2-3回起き上がることがあった) 服薬2日目以後、異常なし。	異常-39	
101	B-07025861	女性	12歳	4 DF	セラベプターゼ エバステン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン ヒベンズ酸チペピジン 鎮咳配合剤(1) 塩酸プロカテロール 塩酸アンブロキソール	幻視 異常行動	回復 回復	服薬1日目。ザナミビル水和物吸入。2時間程度眠っていたのが、立ち上がりキョロキョロし、幻視「怖いものが見える」あり。どこかへ行こうと歩き出す為、母親が寝かし付ける。 その後、3日間ザナミビル水和物吸入継続	異常-40	
102	B-07026388	男性	12歳	20 mg	d-マレイン酸クロルフェニ ラミン 臭化水素酸デキストロメ ルファン クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。睡眠中に突然起き出して部屋内をぐるぐる徘徊している。その後一度Bedへ戻る。午後、浴室でボーっと立っているところを母親が発見し、「大丈夫？」と声をかけると「うん」と返事をして再びBedへ戻り入眠する。その後異常行動みられず。	異常-41	
103	B-08000557	男性	12歳	20 mg	ツロプテロール	異常行動 咽喉頭不快感	回復 回復	インフルエンザキットにてインフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。気管支炎併発。夕方、本剤初回吸入。 服用2日目、朝夕本剤吸入。深夜、のどが乾き、喉がいたいいたいと訴えて歩き回る。30秒位で横になったのでしばらく押さえて、やがて目を開けたまま入眠した。 服用3日目、朝、何も前夜のことは記憶しておらず、食欲は少し出て来た。体温37℃。本剤中止。咽頭違和感回復。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	事例No.	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	対応	経過の概要	報告No.	内容
104	B-08004729	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸セフカペンピボキシル	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1日2回吸入。「先生、先生」と何度も大声で呼ぶ、「薬ちゃんとできてる?(本剤のことか?)」「朝でしょ」など同じことを何度も繰り返す。体温は37℃台となり解熱傾向あり。他にポーツとして返答が遅い症状も多く見られた。 服用2日目、本剤2回吸入。施設の寮母より異常行動がある、との報告があり、本剤を休薬するよう指示した。トイレの前で脱衣等の異常行動あり。 服用4日目、本剤吸入1回。臥床から起きようとし、他の部屋を徘徊、シャワーを浴びた後裸で出てくる、裸で脱衣所に座り込む、突然泣き出す、無い物をつかもうとする、といった異常行動あり。本剤終了。 服用開始から5日目、体温36℃台。来院時の待合室で他人の膝に座ろうとしたり、通路を歩く際、まっすぐ歩けなかった。多動、徘徊行動あるが、入眠を促すと直ぐに眠り込む。 服用開始から6日目、靴はなかなか履けない、階段も探りながら行く、授業中立ち歩くなど異常行動が続き、脳炎否定できず入院となる。		08/04/01以降 新規報告
105	B-08025999	男性	12歳	投与量不明		異常行動	不明	何回か夜中に急に立ち上がり、階段を降りたりした。		08/04/01以降 新規報告
106	B-08027365	男性	12歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) セラペプターゼ アセトアミノフェン	異常行動	回復	迅速診断にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤服用開始。午前中、本剤吸入時、体温は39.8℃。午後、眠りから覚めて直ちに2階からおりてきた。興奮した状態で母の口にマスクをおしつけたり、ロフトにぶらさがったり、切った野菜を手づかみで食べだしたりする等の行動が10分くらい続いた後、母親が制止し、就寝。医師に連絡の上、夕方より、本剤中止の指示。服用開始から2日目、再診。体温36.2℃。精神、神経症状なく、機嫌も悪くない。抗ウイルス薬処方せず対処療法となった。		08/04/01以降 新規報告
107	B-08028085	女性	12歳	10 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン	幻覚 異常行動	回復 回復	38.9℃の発熱あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夜、吸入約1時間半後、寝ていて突然起きて、ポーツとして幻覚を見た。暴れた。立ち上がってどこかへ行こうとするといった症状が発現。悪夢を見た感じであり、就寝中はうなされていた。症状の持続時間は5~10分。 服用開始から2日目、朝、発熱はおさまっており、症状も良くなった。		08/04/01以降 新規報告
108	B-08028342	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤吸入約1時間後、起き上がって、2階から階段をかけおり、突然玄関から外に飛び出しそうになった。母親がこれに気づき、体をおさえてとめて、我に返った。体温39.5度。本人は母親が外で呼んでいるように思ったとの事。 服用5日目、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	加齢番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	110回診察No	備考
109	B-08028507	男性	12歳	20 mg	リン酸ジメメルファン アセトアミノフェン	異常行動	回復	体温は38.6度。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。 服用2日目、深夜、本剤初回吸入5時間後、急に起き上がり、玄関のドアを開けようとする行動発現。家族におさえられ軽快。体温38度。		08/04/01以降 新規報告
110	B-08028606	不明	12歳	投与量不明		異常行動	不明	インフルエンザA型にてザナミビル水和物処方。 同日、服用開始。 夜、本剤吸入約1時間後、急に起き出して「道路に行く」と言い、泣き出したり、飛び起きて父親の部屋へ駆け込んだり、「外へ行かない」と取り乱したりした。 腕をつかんで落ち着かせた。		08/04/01以降 新規報告
111	B-08028716	男性	12歳	20 mg	ロラタジン アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル 塩酸シプロヘプタジン 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンプロキソール	幻視	回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温37.2℃、咽頭痛、鼻汁、咳嗽あり。迅速テストにてインフルエンザB型と診断され、抗生物質等処方。深夜～早朝、寝ていて急に大声を出してバタバタする。走り出さないかと押さえた。1～2分間。患者の記憶あり。体温は37.0℃であった。 服用1日目、午前、本剤吸入。体温38.6℃。夕、本剤吸入。体温39.6℃。深夜、寝ていて急に天井を見つめて、何かいる、降りてくると言ってわめく。20分間。患者の記憶なし。体温は38.5℃であった。 服用4日目、インフルエンザ改善により、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
112	B-08029027	男性	12歳	20 mg	葛根湯	離人症 幻聴 錯覚 異常行動 過換気	回復 回復 回復 軽快	38.5℃の発熱あり、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後、就寝。深夜、悪夢、知覚異常、幻聴が発現。怖い夢を見て過呼吸となる。 服用2日目、朝、本剤吸入後、異常行動が発現。服の中に(背中)に何か入ってきた感じがしてベッドではねる。ベッドからくり返しとびおる。何か音がして出たように思っているが、何もなし。ドアをたたいたような音もした。自分でおかしいと思い、母親に連絡。本剤中止にて速やかに改善。 服用開始から4日目、熱は下がり、症状もおちついてきた。		08/04/01以降 新規報告
113	B-08029428	男性	12歳	10 mg	塩酸クロフェダノール 葛根湯 クラリスロマイシン アセトアミノフェン	激越 無力症 異常行動	不明 不明 不明	体温38.9℃あり、ザナミビル水和物処方。同日服用開始。 服用2日目、昼、本剤吸入6時間後、興奮、窓に向かって走り出すといった行動、脱力が発現。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
114	B-08030247	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 頭痛	回復 回復	38.4℃の発熱あり、受診。ザナミビル水和物処方され、同日、服用開始。 服用1日目、未明、突然部屋から戸を開け、リビングの中を頭を抱えてドタドタ歩き出す行動が発現。「怖い夢を見た。頭が痛い」と訴えた。声を掛け落ち着かせ就寝。服用2日目、起床後、怖い夢を見たことは覚えているが、ドタドタと歩き部屋を歩き回ったことは覚えておらず、その時熱はなし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	発症の経緯	前回来歴No.	備考
115	B-08030544	男性	12歳	20 mg	ツロブテロール 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩化リゾチーム トランキサム酸 塩酸セフカペンピボキシル	異常行動	回復	ザナミビル水和物初回吸入後、寝ていたところ「こわい」と言って起き出し、二階から階段を降りようとする行動が発現。深夜、寝ていて「こわい」と叫んだ。その後も本剤継続。事象発現時はいずれも39℃の発熱あり。		08/04/01以降 新規報告
116	B-08030554	男性	12歳	投与量不明		異常行動	不明	インフルエンザに対して、ザナミビル水和物初回吸入後、就寝。就寝1時間後、起きたところ、外出しようとする行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
117	B-08031337	男性	12歳	20 mg	塩酸ツロブテロール カルボシステイン ラクトミン ブランルカスト水和物 アセトアミノフェン	異常行動	回復	38℃の発熱、前日からの下痢にて、受診。インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用2日目、夜間、就寝していたが、起きて2階の部屋の窓をあけようとしたため、1階につれていった。それ以降、自主的に本剤中止。本剤中止後、異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告
118	B-08031468	男性	12歳	10 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日目、高熱あり。夜中に飛び起きて「枕がー」と叫びながら、2階へかけ上がった。本人の記憶はなし。		08/04/01以降 新規報告
119	B-06026552	男性	13歳	20 mg		異常行動 下痢	回復 回復	高熱あり、インフルエンザの診断。夜、ザナミビル水和物服用。深夜、1階の自室から2階の両親の部屋に行き、意味不明の言動あり、部屋の中をぐるぐる回る。本人は全く覚えていなかった。解熱し、本剤使用するも、その後は異常行動なかった。	異常-42	
120	B-07000021	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物処方。投与2日目、本剤服用から約3時間後、突然手足をバタバタさせたり、飛びはねたりの異常行動出現。全く制止不能であった。本人の当時の記憶はなし。	異常-43	
121	B-07001257	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型と診断され、状態悪く入院。ザナミビル水和物服用。投与3日目、泣き叫び、ベットサイドにあるテーブルに登り、暴れ、ベットから落ちるといふ異常行動を起こす。	異常-44	
122	B-07022586	男性	13歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(ソルビト ール加) チアミンジスルフィド・B6・ B12配合剤アスコルビン酸	意識変容状態 異常行動	回復 回復	キットにてA+、ザナミビル水和物吸入。自宅にて2回目吸入。以後本剤吸入せず。同日晩、突然起きて玄関から出て行く。近くの駐在所で保護された。保護されるまでの間の記憶なく、その後は憶えているとのこと。その後、異常行動は認められていない。	異常-45	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	用量	添付文書 記載成分	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
123	B-07023492	男性	13歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン ラクトミン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、夜、体温38.6℃。夜中はうなされて いた。 翌朝、体温38.5℃にて、受診。インフルエンザ迅速検査A陽性、B陰 性にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤1回目 吸入。体温39℃。本剤吸入2時間後、手をバタバタしてうなる。 服用2日目、朝、本剤2回目吸入。体温37℃台。異常なし。夜、本剤 3回目吸入。体温37℃台。就寝したが、吸入3時間半後、むくっと起 きて「お母さんが迎えに来た。」と言って階下に降りる。その後呼び 戻すとそのまま寝付く。腹痛、頭痛、フラツキ、下痢あり。 服用6日目、インフルエンザ改善により本剤終了。	異常-46	08/04/01以降 追加報告
124	B-07025865	男性	13歳	20 mg	dl-マレイン酸クロルフェニ ラミン カルボシステイン 塩酸ツロプテロール ヒベンズ酸チベジジン スクラルファート カフェイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、39℃の発熱後、不穏状態あり、母親 をかんだりした。 翌日、インフルエンザ抗原検査でA陽性であり、ザナミビル水和物 処方。受診時、やや落ち着きない様子あり。同日、服用開始。夜、 不穏状態となり、急に外へ出ようとしたりした。本剤は昼、夕1回ず つ吸入したが、副作用のため、中止。 服用開始から2日目、体温37～38℃。不穏状態は回復。異常行動 のことは覚えていない。	異常-47	08/04/01以降 追加報告
125	B-07025982	男性	13歳	20 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チベジジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物投与。 服薬2日目、夕方、話そうとしても言葉が出なかった。テレビと母親 を指指して、あつあつと言っていた。車に乗って受診しようとする が、その際、親は患児に傘を持って来てと言ったが、患児は靴べら を持って来た。 服薬3日目、覚醒直後。急に起きて1階にあるトイレに行ったあと、2 階まで階段を駆け上がり、2階の廊下を走り回った。母親を指差し て、さとう、と言って部屋の中でびよんびよん、サルの様に跳ねた。 その後、布団に横になり元に戻った。この間10-15分くらいであつ た。	異常-48	
126	B-07026511	男性	13歳	20 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	異常行動 譫妄	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温38.7℃、頭痛、咳嗽、咽頭 痛あり。本剤1回目吸入、アセトアミノフェン服用し、就寝。吸入1時 間後、ベッドから起き上がり、歩きながら「体温が300℃あるからこっ ちに来て」と訳のわからないことを母親に言いに来る。ベッドに戻り 横になるが「怖い怖い」「壁を僕に投げないで」など、再度、妄想め いたことを口にする(約3分間)。意識が戻った後、会話が普通にな る。歩いて母親を呼びに来たことは全く覚えておらず、「怖い夢を見 ていた」と話す。吸入5時間後、体温38.6℃。自分でも訳のわから ない行動を取ろうとして、「怖い」と話す。吸入7時間後、解熱せず、 ベッドに横になると「親が遠くに見える」と訴え、異常があるため受 診。意識清明であったが、院内で数時間観察。 服用開始から2日後、体温37.2℃。元気で異常なし。		08/04/01以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
127	B-08027532	男性	13歳	20 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸プロカテロール カルボシステイン クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	微熱、咳嗽、鼻汁、嘔気、頭痛のため来院し、インフルエンザの検査にてインフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、夕、本剤吸入。深夜、睡眠時、何か声が聞こえて夢遊病のようにさまよい、2階の窓から外に飛び出した。外傷はほとんどなかったが、自宅の車の中で3時間位過ごした。翌朝、両親を起こし、自宅内にもどる。再診時、意識状態良好、麻痺はなし。打撲痕はないが、背部痛を軽度訴える。その時の記憶は不鮮明とのこと。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
128	B-08027533	男性	13歳	20 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン 塩酸ツロブテロール アセトアミノフェン UNKNOWNDRUG	異常行動 悪夢	回復 回復	インフルエンザでA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始し、昼、夜、本剤吸入。翌朝、起きた直後に、2階窓から転落。「こわい夢を見た」とのこと。落下時に電話線につかまった様だとのこと。隣家との間に落ち、空調の室外機にぶつかり、それから地上に落ちた。一緒に寝ていた弟に「逃げろ」と言ったとのこと。自分は窓から逃げた。本人の記憶あり。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
129	B-08027674	男性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	熱性譫妄 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。夕方、本剤吸入。深夜、父親が止めてもかなり暴れて窓に足をかけたり玄関からおびえ泣きながら出ていこうとする行動が発現。行動は約30分持続した。発熱あり、本剤服用開始。朝、本剤吸入8時間後、体温39℃台あり、泣いてどこかに行こうとする行動が発言。父親が腕を引いて止めた。うわごともあり(持続時間は約15分)。夜、本剤吸入約1時間後、就寝。深夜、体温39℃台あり、急に起きてとりに寝ている姉に何やら話しかけた後、立ち上がり出かけようとした。父親が少し押さえて止めた。		08/04/01以降 新規報告
130	B-08027675	女性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、夕、本剤吸入し、就寝。服用2日目、朝、本人に意識はあるが「勝手に脚が動いてしまう」とのこと。2階～1階～2階と室内、階段を走り回る。本人、恐怖のため家人に電話した。37.4℃。以後は異常なし。		08/04/01以降 新規報告
131	B-08028349	女性	13歳	20 mg		異常行動 譫妄 徘徊癖	回復 回復 回復	咽頭痛、咳嗽あり、翌日、受診し、ザナミビル水和物処方。同日、夜、本剤初回吸入後、就寝。体温38度。本剤初回吸入3時間後、寝室で寝ていたが突然起きだして部屋から出てリビングに勝手に座っていた、「手術で切られる」「手術で切られる」「虫がおそってくる」とうわ言など叫びながらリビングで暴れ出した(意識朦朧としていた)といった症状が発現。その後、就寝。事象発現翌朝、通常の意識状態にもどる。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	別記号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	別記号No	備考
132	B-08028505	女性	13歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸アンプロキソール	異常行動	不明	発熱あり、同日夜、ザナミビル水和物等服用開始。 服用2日目、真夜中に2階から階段を走るように降りてきて「カバン カバン」と叫ぶといった症状が発現。洗顔をさせると我ががかったと のこと。それまでの事は本人の記憶はなし。翌朝、解熱。軽度咳そ う、鼻閉のみ。ほぼ通常の状態。		08/04/01以降 新規報告
133	B-08028506	女性	13歳	20 mg		異常行動	回復	体温37.8℃、咽頭痛、咳、痰あり。キットにてインフルエンザA型の 診断にてザナミビル水和物処方。夜、本剤吸入後約2時間後に就寝。 服用2日目、朝、体温37.5℃。本剤吸入後、再度睡眠。本剤吸入1 時間半後、ベッドから突然起きて窓の方へ歩き、窓を開けてベラン ダに出た。母親が気づき、問いかけると、「兄がそこに」と言って眼 を見開いていた。患者をソファに座らせた後、ベッドに寝かせるま で約15分経過し、通常の状態に戻った。 服用開始から3日目、インフルエンザ回復にて、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
134	B-08028720	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	39.4℃の発熱あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナ ミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、早朝、5分ほど家の中をブツブツ言いながら歩き回っ ていた。親は止めようと声を掛けたが、反応がなかった。		08/04/01以降 新規報告
135	B-08028725	男性	13歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン セフジニル アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリ ウム	異常行動	回復	体温39.1℃。キットにてインフルエンザと確認し、ザナミビル水和物 処方。同日、朝、本剤初回吸入するも、著変なし。夜、体温は 38.9℃。本剤吸入直後、トイレに行くといって庭に出ようとした。父 親がそこはトイレではないと指摘すると、トイレに行き排尿した。トイ レから出た後、浴室へ行き、くつ下を片方脱いで居間に戻ってき た。そしてそのまま黙って2階へ上がり、パンツ姿になって降りてき た。父親が大声で名前を呼ぶと、僕何をしていた?と言い我に返った ようであった。その間の記憶はなく興奮した様子もなかった。事象 発現20分後、体温は37.2℃。		08/04/01以降 新規報告
136	B-08029201	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	前日夜より、体温38℃と発熱、咳あり、受診。キットにてインフルエ ンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤服用開始。 服用2日目、夜、検温をしようと名前を呼んだところ、階段へ行き、 下を指差しながら降りていった。心配になり再度名前を呼んだとこ ろ、今度はストーブの前へ行き、数秒間足踏みをした。この行動を 後で本人に確認したところ全く覚えていないとのこと。 服用3日目、下熱し、気になる行動は認めず。本人に確認したとこ ろ、行動については覚えていないとのこと。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
137	B-06026557	男性	14歳	20 mg	アジスロマイシン水和物 ジプロフィリン・ジヒドロコデ イン配合剤	異常行動	回復	夜吸入後、異常行動発現(暴れた)。両親で押さえつけて止めた。	異常-50	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考
138	B-07024517	男性	14歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。昼過ぎ、大声で叫び、携帯ではなく家の玄関まで行って、家の電話で母親に電話し、「アイスクリームが溶けて爆発した」と話す。しばらくして、我に戻る。 夜中、ぐるぐる回り、自分で鍵を開けてマンションのベランダに出て、ここから下に降りなければならないと叫ぶ。落ちそうになり兄が止めた。兄が顔に張り手をするが気が付かず、無理やり部屋に引き入れた。本人は記憶なし。 服薬2日目、午後、解熱傾向。以降はザナミビル水和物中止。異常行動は回復。	異常-51	
139	B-07025027	男性	14歳	20 mg	クラリスロマイシン カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断、ザナミビル水和物吸入。服薬2日目朝、本剤3回目吸入。熱は解熱傾向。昼過ぎ入眠。夕方、ポツとしていたが、急に起きて兄の首を絞めようとした。兄が怒って振り払うと、ひとしきり泣きいってしまった。その後、普通にもどって食事をしたが、兄の首を絞めたことは覚えていない。 翌日、受診。少しポツとしている。意識してすることはわかるが、何とはなしに無意識にした日常的なことは覚えていないと言う。本剤中止。	異常-52	
140	B-08027366	女性	14歳	10 mg		異常感 異常行動	回復 回復	インフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、本剤1回目吸入約2時間後、体が硬くなるような軟らかくなるような感じがすると訴え、同時に室内をグルグル歩き出した。2時間程で症状は軽快。体温38.2℃。本剤服用は1回のみで中止。		08/04/01以降 新規報告
141	B-08028724	男性	14歳	10 mg		異常行動	回復	インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、体温38℃。昼頃、本剤吸入約2時間半後、周りのものを壊したくなり、父親に向かって行って、抑制され正気になった。		08/04/01以降 新規報告
142	B-08029311	男性	14歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン	錯乱状態	回復	ザナミビル水和物服用1日目、体温38.3℃あり、昼、夜、本剤吸入し、就寝。深夜、睡眠状態で、錯乱(飛び回る、弟を踏みつける)が認められた。約10分継続し、親が寝かしつける。		08/04/01以降 新規報告
143	B-08029576	男性	14歳	10 mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカベンピボキシル 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	体温38.5℃。来院し、インフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。朝、本剤吸入約3時間半後、「1階から2階を何度も走っているのだから、おかしいので帰って来てくれ」と本人が母親に電話した。母親帰宅後、2~3時間睡眠。睡眠時、足の振戦あり。起床し、「おはよう」と言ってトイレに行こうとして玄関に向かって倒れた。その後、テストのことや2階から飛べる等、おかしい言動をするので病院に搬送。夜まで経過観察後、帰宅。1回のみで本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性別	年齢	用量	添付文書	副作用	経過	経過の概要	再発/経過	備考
144	B-08030246	男性	14歳	20 mg			軽快 軽快	39℃の発熱、関節痛あり、受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、夜、吸入後、ハイテンションとなり、意味不明のことを一生懸命説明しようとする行動が発現。本人の記憶はなし。深夜、無意識のうちに冷蔵庫に行き帰る途中、転倒し歯を折った。本人はあまり記憶がない様子。 服用6日目、インフルエンザ治療により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
145	B-08032019	男性	14歳	20 mg			不明	ザナミビル水和物初回吸入約2時間後、保護者が部屋からの物音に気づいた。部屋を見てみると、患者が徘徊していた。医師の指示により、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
146	B-08000326	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメ ルファン 塩酸プロムヘキシン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン		回復	服用1日目、咳、鼻閉、咽頭痛、手足の痛みあり、食欲なし。体温38.4℃。言動はふつ。ザナミビル水和物1回目吸入。 服用2日目、体温39.6℃。深夜、就寝中に大声でわめきながら、すごい勢いで部屋のドアを開け、となりの台所にとび出して来た。ウロウロしながら大声で、ワーク、ワーク、ワーク引っぱらないでと何℃も言う。母親の声かけにより落ちつき、寝る、大丈夫と言い、自分で布団に入って寝た。朝まで就寝。本人は全く覚えてない。 以降、異常行動は起きていない。		08/04/01以降 新規報告
147	B-08026496	女性	15歳	15 mg	麻黄湯 桜皮エキス・リン酸コデイン カルボシステイン		軽快	38.3度の発熱があり、受診。インフルエンザA型抗原陽性にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。その後改善なく夜に本剤吸入。症状改善なく再度就寝前に本剤吸入。その後「こわい」「こわい」と動き出し、異常行動が発現。家族の説得等に反応し、症状は消失。(なお、こわいこわいと動き回った際は、行動に抑制がかからず、また、本人はその際のことは詳細には記憶していないとのこと)。 服用2日目、わずかに解熱するも、咳症状は認められていた。本剤は、患者家族判断にて服用中止。		08/04/01以降 新規報告
148	B-08026607	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン		回復	インフルエンザB型の診断と診断され、ザナミビル水和物処方。夕、体温39℃。本剤2回目吸入。その後、熱があるため、アセトアミノフェン坐剤を使用し、就寝。深夜、体温38.5℃。3階にて睡眠中、突然大声をあげて2階の両親の部屋へかけおりにくる。大声で意味不明、支離滅裂な話を始める。救急車にて搬送。インフルエンザ脳症疑いにて他院に転送されるも、問題ないため帰宅。 服用2日目、再受診。バイタル含め異常なし。本人には異常行動中の記憶なし。インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
149	B-08027684	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン レバミピド		回復 回復	38度の発熱にて受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤1回目吸入約3時間半後、本剤2回目吸入。その後、就寝。2回目吸入4時間後、深夜、玄関外のエレベータ前で寝ている所を発見。救急外来を受診。再度インフルエンザの検査を行い、A型陽性であった。治療せず帰宅。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過	経過	経過
150	B-08030549	男性	15歳	10 mg			徘徊癖 絶叫	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、午前中、本剤吸入約45分後、奇声をあげたり部屋内をウロウロする行動が発現。本剤中止。			08/04/01以降 新規報告
151	B-08031640	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン		異常行動	回復	38.1℃の発熱あり、キットにてインフルエンザA型の診断。診断翌日からザナミビル水和物服用開始。 服用2日目、午前中、本剤吸入後、就寝。吸入約2時間後、高熱あり。イチゴを食べるかと思われ、ケーキを60個作らなくてはと言いながら台所付近を歩き回る(約5分間)といった行動が発現。発現時の記憶はなし。吸入約2時間半後、就寝。吸入約7時間後、高熱あり。手が無い、手が無い、手を作らなくてはと異常言動が発現するも、すぐ正気に戻る。発現時の記憶なし。本剤中止。			08/04/01以降 新規報告
152	B-07028447	女性	16歳	20 mg	インスリン アスパルト(遺伝子組換え)		異常行動 意識変容状態	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、夕、体温38.6℃。翌日、39.9℃の発熱あり、受診し、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤1回目吸入。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。深夜、本人が気付くと3階の自宅の窓から出て、2階部分の屋根のひさしの上につきすりにつかまりながら立っていた。父が助け出したが本人は過呼吸、泣き続ける状態。外傷はなし。事象発現約1時間後、受診。受診時は簡単な応答は可能。事象発現約2時間後、ほぼ意識状態は正常。副作用により、本剤中止。検査のため、入院。	異常-53		08/04/01以降 追加報告
153	B-08024167	男性	16歳	20 mg			異常行動	回復	体温39℃。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤初回吸入し、就寝した。深夜、自宅2階のベランダに足をかけて飛びおりにしようとしているところを母親が発見。「外に友達がよんでいるから行って来る」と本人は話していたとの事。部屋に入ってから友達が来ているからと部屋の中をウロウロしていたと、部屋の電気をつけて何度か呼びかけたら、ふつうにもどったという。異常行動の持続時間は数分間。 その後は特に変わった様子はなし。 服用5日目、インフルエンザ改善により服用終了。			08/04/01以降 新規報告
154	B-08030245	男性	16歳	10 mg	葛根湯		異常行動	回復	39.0℃の発熱あり、受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入後、睡眠。吸入約2時間半後、昼食のため起こすと、目の焦点があわず、うろろし始め、水に行きたい、病院に連れてってと連呼する、蛇口を開ける動作をするといった行動が発現。大量の発汗あり。事象発現10分後、落ち着く。この間の行動に記憶なし。医師に相談し、本剤中止の指示。			08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
155	B-08026395	男性	17歳	20 mg	カルボシステイン dl-マレイン酸クロルフェニ ラミン 鎮咳配合剤(1)	死亡	死亡	38.8度の発熱があり、受診。A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物とカルボシステイン、dl-マレイン酸クロルフェニラミン、鎮咳配合剤を処方。同日、服用開始。 翌日、朝、自宅ベランダ(5階)から転落しているところを発見された。異常行動の有無については確認されていない。報告医が患者父親に服用について聞いたところ、「先生に言われたとおりにしました」とのこと。報告医は本剤を含め併用薬も全て服用したと考えている。		08/04/01以降 新規報告
156	B-08028610	女性	17歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) d-マレイン酸クロルフェニ ラミン	異常行動	回復	キットにて、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日午前中、夕方、本剤吸入。就寝前の体温は38.7℃。服用2日目、早朝、急に飛び起き、気持ちが悪かったようでトイレに起きた様子でしたが、トイレではない場所に転びそうになりながらバタバタ音をさせ、トイレより先の部屋に倒れこむ。あわてて駆け付け抱き起こし、気持ちが悪いと言うのでトイレに連れて行く。5分位トイレにいたが何ももどしていない様子。そのまま部屋にもどり寝る。事象発現約4時間後、体温は37.2℃であり、少々まだ気持ちが悪いようで、薬を服用すべきか悩み病院へ電話した。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
157	B-07023802	男性	18歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 維持液(6) セフトリアキソンナトリウム	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断。受診中にザナミビル水和物を1回分吸入。帰宅後、ほとんど自宅で眠っていた。夕方、頭の中がおかしいと感じ、自分の顔をたたいて「しっかりしないといけない」と自分自身を元気づけていた(約数分間)。夜、就寝後、急に起き上がり、1階と2階を行ったり来たりした(約数分間)。その時、本人は「覚えてはいるが、はっきりしない」感じであったとのこと。救急外来を受診。本剤中止。以後、帰宅後も異常行動出現なし。	異常-54	
158	B-08028607	男性	18歳	20 mg	乳酸リンゲル液	異常行動	回復	39.3℃の発熱あり、受診。倦怠感強く、食事は取れないが、意識著名。検査にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入約2時間後、体温39.8度あり、発汗多量で、2階寝室で寝ていたが「あつい、あつい」と言いながら、1階に降りて玄関のドアを開け外に出るところを家人が制止。ソファに座らせた時は、過呼吸で呼びかけに返事をしなかったが、数分で落ち着き返事をするようになった。再び就寝させた。 服用2日目、朝、体温は37.2℃。食事可能となり、会話も普通。本剤吸入。その後、本剤中止。 服用開始から3日目、症状なし。異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
159	B-08028839	男性	18歳	20 mg	リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 酪酸菌製剤	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温38.5℃にて、受診するも、キットにて陰性であった。 服用1日目、体温38.2℃にて、再診。キットにて、インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、夜、本剤吸入。夜、本剤吸入2時間後に就寝。本剤吸入3時間後、自室(2階)から下りて来て、小声で意味不明のことを言いながらウロウロ、ドアを開け庭に出て5~10分ウロウロ動き回ったあと、母に促され屋内に戻った。 服用2日目、朝、体温37.9℃。昨夜の行動が変だったことは何となく覚えているとのこと。本剤吸入後、服用1日目の異常行動を踏まえ、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
160	B-07027137	男性	19歳	20 mg	ロキソプロフェンナトリウム 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン	運動過多	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温39℃。本剤1回目吸入15~20分後、じっとしてられず、部屋の中を歩きまわっていた。落ちつかずじっとしてられない気分であった。昼過ぎ、体温が37℃に下がる。 5日間本剤服用したが、服薬1日目を以降、異常なし。	異常-55	08/04/01以降 追加報告
161	B-08029433	不明	19歳	投与量不明		異常行動	不明	ザナミビル水和物を5日分処方。夜中におかしなことを叫んで走ってくるという異常行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
162	B-07025367	男性	20歳	20 mg	塩酸イトブリド セフジトレンピボキシル アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザ(A)。昼頃、ザナミビル水和物吸入。階段昇り降りし、遠くを見つめていた。夕方、同じパターン。 服薬2日目朝、同じパターン。本剤吸入中止。解熱して症状改善。	異常-56	
163	B-08030546	男性	29歳	10 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日前より発熱あり。 インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。帰宅し、約3時間の睡眠後、起き出し、トイレに行くときと大声を出す、トイレから出て走り、妻に抱きつくといった行動が発現。シャワーを浴びると正常な状態に回復。		08/04/01以降 新規報告
164	B-07000023	女性	30歳	20 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメ ルファン	幻覚 失見当識	回復 回復	ザナミビル水和物を使用。服用2-3時間にて家と反対方向に歩き出し、夫に注意を促されて戻る。帰宅後もトイレで壁に向かって何度もおじぎをし謝っていた。 翌日、ザナミビル水和物中止し、同様な症状は起きていない。	異常-57	
165	B-08028841	男性	10歳代	投与量不明		落ち着きのなさ	不明	夜、パジャマのまま外を徘徊しているところ通行人に保護され、病院搬送。ザナミビル水和物が処方されていたことが判明(吸入の有無は不明)。入院するも翌日には症状なし。		08/04/01以降 新規報告
166	B-08028608	不明	不明	投与量不明		落ち着きのなさ 徘徊癖	不明 不明	ザナミビル水和物服用後、落ち着かないといっとうろろしている。		08/04/01以降 新規報告
167	B-08030547	男性	不明	投与量不明		異常行動	不明	布団の中で大きな声を出し、布団から飛び出す行動が発現し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告